

翼 小 学 校 教 育 目 標



(1) 本校の教育目標

心豊かで進んで行動できる子どもを育てる

- 明るく ○ たくましく ○ よく学ぶ

(2) 経営方針

～「この子の輝き」を求め続ける～

- 目指す子ども像 「未来に羽ばたく翼を自分で育てる」
 - ・校歌に示されている姿を目指す子ども像と位置づけ、自律性、主体性を育む。
- 目指す教職員像 「一人一人の輝きを大切にし、生かし、伸ばす教職員集団」
 - ・あらゆる教育活動の中で子どものよさをみどり、伸ばす教育に努める。
- 目指す地域連携 「心かよう」学校づくり、家庭・地域との連携
 - ・学校、保護者、地域が三位一体となり、心の教育を推進して教育目標に迫る。

(3) 本年度の重点目標

- ① 共感的な意識を高め「明るく」活動できる子どもを育てる
 - ア 「あいさつ」「返事」「思いやり」「みんなをおうえん」を合い言葉に、基本的な生活習慣を身に付けるとともに、意図的、継続的に心かよう人間関係を構築する。
 - イ 子どものよさを引き出し、その輝きを認めて自信をつけさせたり、仲間と関わり合う中で成長や個性を自覚させたりして、自己肯定感や自己有用感を高める。
 - ウ 道徳の授業改善を図り、自他を大切にしたり、みんなで協力し合ったりする心を育て、家庭や地域と連携し、日々の生活の中に生かされるように指導する。
- ② 心も体も「たくましく」生活していける子どもを育てる
 - ア 休み時間の外遊びを奨励したり、体育や保健、特別活動における実践を工夫・改善したりして、健康な心と体づくりを推進する。
 - イ 行事や児童会活動など、活動の目的を明確にし、ペア活動による異学年交流を充実させ、子どもが達成感をもち、自信をつけることができる実践を推進する。
 - ウ 家庭との連携を図り、早寝・早起き・朝ごはんの意識を高めたり、家庭での手伝いを推奨したりすることで、健全な学校生活へとつなげる。
- ③ わかる授業で「よく学ぶ」子どもを育てる
 - ア 学習習慣、学習規律の指導や基礎・基本を大切にし、学びの土台を固めるとともに、問題解決的な学習過程を重視し、子どもが成長を実感できる授業を構築する。
 - イ 教職員が自己研修の意識を高め、授業の基盤となる学年・学級経営を大切にし、協働して授業づくり、学習環境づくりに取り組む。
 - ウ 地域の力を借り、人との関わりの中で子どもの学習や体験活動を充実させることにより、自主性や積極性を高める。
- ④ 教職員の業務改善を図り、明るく、笑顔で子どもとともに学ぶ姿勢を大切にする。
 - ア 会議や活動の終了時刻を定め、時間管理を徹底する。
 - イ 学年内、学年間の情報交換を密にし、先を見通した学校・学年運営を行う。
 - ウ 連絡・報告・相談・回覧の機能を充実させることで、会議の精選、統合を図る。
 - エ 週に1日は、個々に定時退校を心がける日を設定し、教職員自身による労務管理の徹底を図る。